

## 学校教育目標と学校経営方針

- 教育基本法
- 学校教育法等関係法令
- 学習指導要領
- 第2次川崎市教育振興基本計画  
かわさき教育プラン  
(第3期実施計画)

### 学校教育目標

- 明るく元気でたくましい子
- よく考え進んで創造する子
- 豊かな心で力を合わせる子

- 地域の実態
- 児童の実態
- 保護者の願い
- 教職員の願い

夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く

### かわさきキャリア在り方生き方教育

#### めざす学校像

「菅生文化の継承・創造」

#### 【めざす子ども像を実現するためのキーワード】

●明るく元気でたくましい子  
＜挨拶・笑顔＞

●よく考え進んで創造する子  
＜熟考・振り返り＞

●豊かな心で力を合わせる子  
＜アンテナ・ハーモニー＞

#### 【めざす子ども像を実現するための具体的な取り組み】

##### (1)「笑顔・挨拶」

- ① 教職員や児童会活動によるあいさつ運動の実施
- ② 川崎 きらきらチャレンジの取組
- ③ 教職員も子どもも笑顔で授業

##### (2)「熟考・振り返り」

- ① 子ども主体の係・委員会・実行委員会
- ② 子どもが創る異学年集會
- ③ 子どもが学びを創る「全員参加の学習」の研究

##### (3)「アンテナ・ハーモニー」

- ① 合わせる喜びを感じる音楽集會・音楽学習発表会
- ② いじめ未然防止と起こったときの早期解決
- ③ 困っている人を見逃さない学年・学級経営

##### (4)「喫緊の教育課題」

- ① 市制100周年 e-ネ川崎サミット・花いっぱい運動
- ② 不登校(傾向)の児童への対応
- ③ 個別最適な学びと協働的な学びの実現

##### (5)「地域・保護者連携」

- ① 平瀬川、飛森谷戸の自然を生かした総合的な学習の時間の充実
- ② 菅生神社の例大祭等、地域行事への積極的な参加
- ③ 学校運営協議会・学校評価アンケートの充実

## 1. 学校教育目標

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。(教育基本法第一章 第一条 教育の目的)とあります。学校は、長きにわたって知・徳・体の調和のとれた人間の育成をめざしてきました。全ての教育活動の中での学習や体験に基づき、社会の一員であるという自覚をもち、広く国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かで自主性と創造性に富む子どもの育成を目指すことが大切です。そこで、学校教育目標に基づき、以下のような目指す子どもの姿を考えました。

### めざす子ども像

- ◆明るく元気でたくましい子
- ◆よく考え進んで創造する子
- ◆豊かな心で力を合わせる子

## 2. めざす学校像

これからの子どもには、かわさきキャリア・在り方生き方教育を推進していく必要があります。2030年の社会と、更にその先の豊かな未来を築くために、社会的・職業的に自立した人間として、伝統や文化に立脚し、高い志と意欲を持って、蓄積された知識を礎としながら、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められています。

そこで、めざすが学校像として、

**「菅生文化の継承・創造」**

を掲げることとしました。

## 3. めざす子ども像を実現するためのキーワード

### ① 笑顔・挨拶

将来社会を形成する子どもですから、学年や学級での取組に積極的に参加してもらいたいです。そのときに、大事なものは「笑顔」ではないでしょうか。担任が笑顔で授業する。子どもが笑顔で授業に臨む。笑顔のあふれる学校生活をめざしていくことが、明るく元気でたくましい子の育成につながるのではないかと考えます。

菅生小学校の児童は挨拶がとてもよくできます。明るく元気でたくましい子の象徴として挨拶を今年度も大切にしていきます。

### ② 熟考・振り返り

粘り強く考える姿を学校生活で実現するために、周囲の目を気にすることなく、試行錯誤を繰り返しながらのめり込むような場面をたくさん演出していきたいです。そのために「熟考」というキーワードを大切にしていきます。

創造をしていくためには、「自分たちは何をすべきか」「次に何を行っていくと良いか」がわからなくてはなりません。そこで、振り返りをタイミングよく行い、自己理解を促していけるようにします。

### ③ アンテナ・ハーモニー

いじめはすぐに対応していかななくてはなりません。そのためにアンテナを張って常にみんなで注意していきます。困っている子がいたらすぐに助けるような優しい子がいる。こうしたアンテナをもった子どもを一人でも多く育てていけるようにします。

音楽学習発表会・音楽朝会は子どもの心を育むうえで大切だと考えますので、学校経営の柱として位置付けていく必要がある。音楽学習発表会・音楽朝会に限らず、互いに気遣い、調和のとれた学級・学年・学校をめざしていきます。

#### 4. めざす子どもを実現するための具体的な取組

「明るく元気でたくましい子」「よく考え進んで創造する子」「豊かな心で力を合わせる子」を実現するために設定したキーワードを実現するためにそれぞれ重点的に取り組むことを3つに絞っています。また、めざす子どもを実現するためには、喫緊の課題や保護者・地域との連携が不可欠です。そこで5つの柱に3つの具体的な取組を設定しています。

##### (1) 笑顔・挨拶

- ① 教職員や児童会活動による挨拶運動の実施
- ② 川崎 きらきらチャレンジの取組
- ③ 教職員も子どもも笑顔で授業

##### (2) 熟考・振り返り

- ① 子ども主体の係・委員会・実行委員会
- ② 子どもが創る異学年集会
- ③ 子どもが学びを創る「全員参加の学習」の研究

##### (3) アンテナ・ハーモニー

- ① 合わせる喜びを感じる音楽集会・音楽学習発表会
- ② いじめ未然防止と起こったときの早期解決
- ③ 困っている人を見逃さない学年・学級経営

##### (4) 喫緊の教育課題

- ① 市制100周年 e-ネ川崎サミット・花いっぱい運動
- ② 不登校（傾向）の児童への対応
- ③ 個別最適な学びと協働的な学びの実現

##### (5) 地域・保護者連携

- ① 平瀬川、飛森谷戸の自然を生かした総合的な学習の時間
- ② さくら祭、菅生神社の例大祭等、地域行事への積極的な参加
- ③ 学校運営協議会・学校評価アンケートの充実

